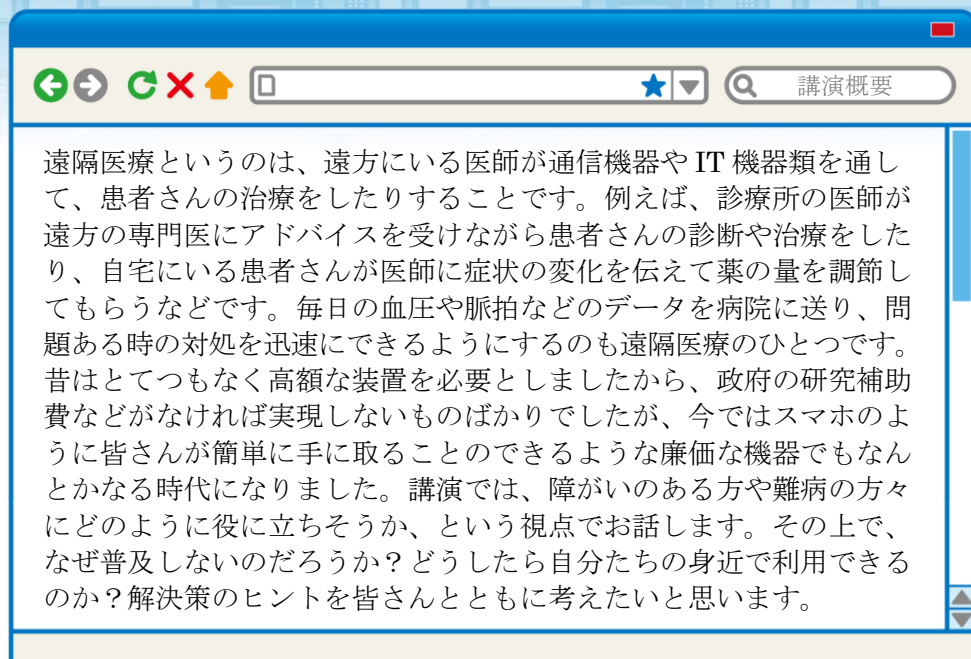


第34回県民福祉講座(赤い羽根共同募金助成事業)

遠隔医療は、望む人に安心と希望を届ける技術

参加費
無料



遠隔医療というのは、遠方にいる医師が通信機器や IT 機器類を通して、患者さんの治療をしたりすることです。例えば、診療所の医師が遠方の専門医にアドバイスを受けながら患者さんの診断や治療をしたり、自宅にいる患者さんが医師に症状の変化を伝えて薬の量を調節してもらうなどです。毎日の血圧や脈拍などのデータを病院に送り、問題ある時の対処を迅速にできるようにするのも遠隔医療のひとつです。昔はとてつもなく高額な装置を必要としましたから、政府の研究補助費などがなければ実現しないものばかりでしたが、今はスマホのように皆さんが簡単に手に取ることのできるような廉価な機器でもなんとかなる時代になりました。講演では、障がいのある方や難病の方々にどのように役に立ちそうか、という視点でお話します。その上で、なぜ普及しないのだろうか？ どうしたら自分たちの身近で利用できるのか？ 解決策のヒントを皆さんとともに考えたいと思います。

実際の機器を使った
実演があるよ～



講師 酒巻哲夫氏 (群馬大学名誉教授・日本遠隔医療学会副会長)

日時 2015年10月4日(日) 13:00～15:00 (受付 12:30～)

会場 埼玉県障害者交流センター 多目的ホール

対象者 一般市民

主催 一般社団法人埼玉県障害難病団体協議会

申込先 一般社団法人埼玉県障害難病団体協議会

① 電子メール shnky@tbn.t-com.ne.jp

② TEL&FAX: 048-831-8005 ・電話受付時間: 月～金曜日 10:00～16:00 (祝祭日除く)

※電子メールおよび FAX の場合は、氏名、住所、電話番号をお書きください。



<酒巻哲夫氏 ご経歴>

1947年、栃木県に生まれる。1972年春、群馬大学医学部卒業後、母校にて循環器領域の臨床と研究に従事。1981秋より1年間米国ミズリー大学に留学。1998年、附属病院に医療情報部が設立され教授となる。2013年春、群馬大学を定年退職後は高崎市医師会看護専門学校副校長として勤務し現在に至る。大学に在職中は患者講師を教室に招き患者の生の声を医学教育に取り入れる講義を行ってきた。また、厚生労働省の研究費を得て、遠隔医療に関する調査研究を長年続けている。

当日は「埼玉障害者まつり」がセンターで開催されます